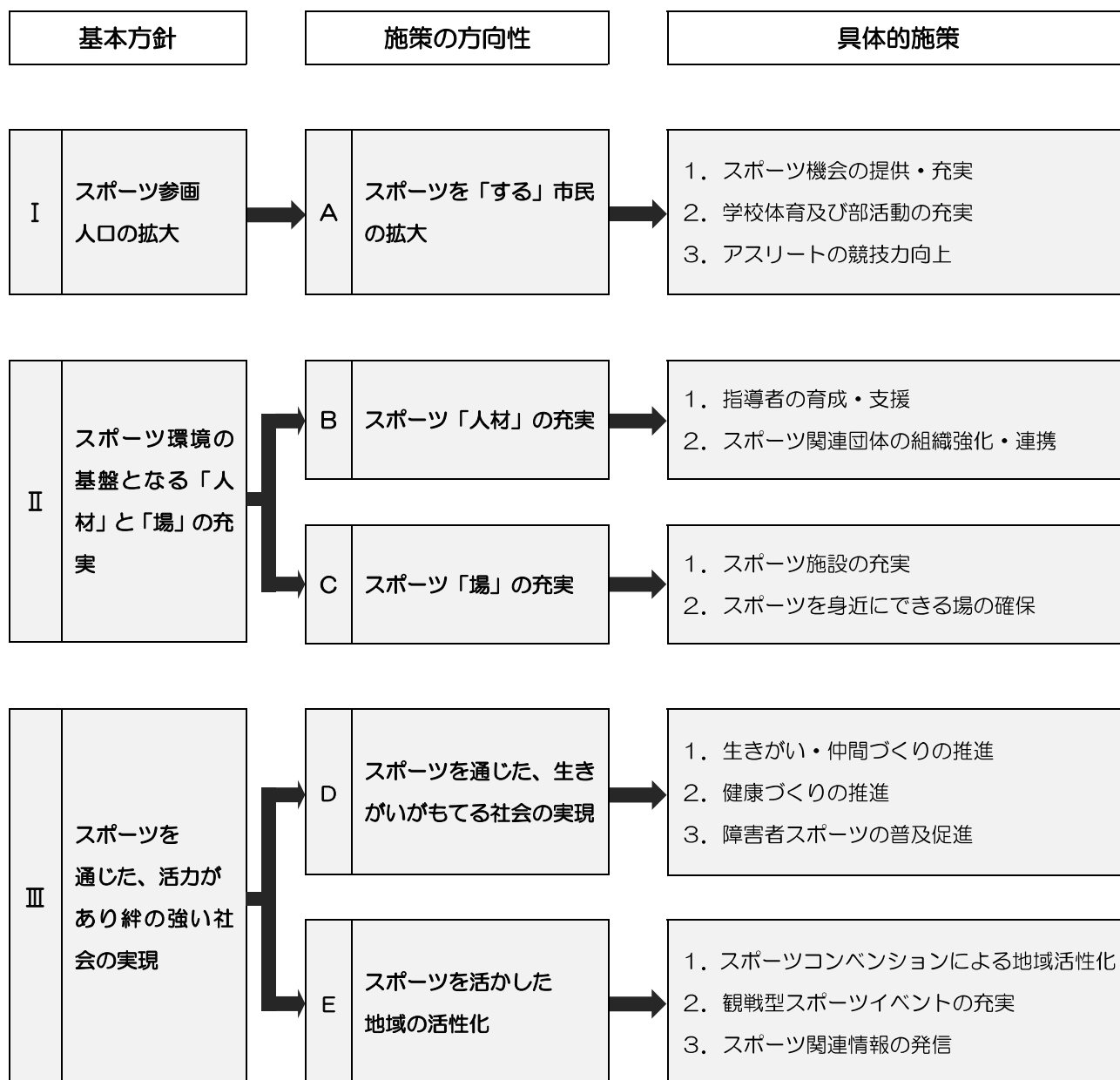


Ⅲ章 スポーツ推進に向けた施策の取り組み

1 施策の体系



2 具体的施策内容

I スポーツ参画人口の拡大

市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことができるように市民それぞれのライフステージや関心度合、適正等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会の充実を図ることで、スポーツ参画人口の拡大とスポーツ活動の活性化を目指します。

施策の方向性

A：スポーツを「する」市民の拡大

【成果指標】 する

◆成人の3人に2人（65%程度）は、週1回以上スポーツを行っている。

※R1実績 43.9%

◆小中学校の学校体育授業以外で、運動をしている児童生徒が85%以上になる。

※H30実績 77%

【具体的施策】

1 スポーツ機会の提供・充実

①スポーツ初心者に向けた機会の確保

年齢、性別や障害の有無に関わらず、全世代を通じスポーツを始める入り口として、遊びながら、楽しみながらスポーツ・運動ができる機会を確保します。

②市民参加型スポーツイベントの充実

「いつでも」「どこでも」「だれでも」がスポーツを楽しめるよう、各地域やスポーツ推進委員、各種スポーツ団体との連携を図り、身近で手軽に参加できるイベントを充実します。

③地域におけるスポーツ講座・イベントの充実

各地域や校区単位で行うスポーツ講座や多世代交流も図ることができるイベント等について、スポーツ推進委員や総合型クラブとの協働により充実します。

④仕事や家事等で忙しい世代のスポーツ機会の充実

20代から50代までの仕事や家事、子育て等で忙しい世代の運動機会の充実を図るため、スポーツ関係団体等と連携した取り組みを進めます。また託児サービスの提供など、子育て中の人も参加しやすい環境を整えます。

⑤子どもがスポーツに親しむ機会の提供

子どもにスポーツの楽しさを知ってもらうため、子ども向けの教室や親子で参加できるイベント等を開催し、スポーツに親しむきっかけとなる事業を実施します。

2 学校体育及び部活動の充実

①全国体力・運動能力運動習慣等調査の活用と体力向上施策の展開

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果等をもとに、各学校の特色を活かしたスポーツ的行事及び日常的な「1校1取組運動」の取組、外遊びの推奨など、子どもの体力、運動能力の向上のための施策を展開します。

②学校体育及び部活動への連携した外部指導者の活用

より充実した体育授業に資するため、また部活動の活性化や生徒の技術向上のため、総合型クラブや地域のスポーツ指導者等との連携等により外部指導者を活用します。

③部活動方針に基づく取組の充実

久留米市部活動方針に基づき、持続可能な部活動の充実に取り組みます。

3 アスリートの競技力向上

①ジュニアアスリートの競技力向上

オリンピック・パラリンピック等の大規模スポーツ大会での活躍が期待される本市ゆかりのジュニアアスリートに対し、国内外での試合や日々のトレーニングなどの充実が図られるよう、競技力の向上のための支援を行います。

②競技大会出場選手への支援

全国大会や九州大会に出場する選手に対して出場奨励金を支給するとともに、市民に夢や感動を与える顕著な成績を収めた選手を表彰し、積極的なPRを行います。

③中・高体連専門部、競技団体との連携強化

中体連・高体連と各競技団体との連携を強め、一体的なタレント発掘を行うとともに、必要に応じて県等の関係機関につなぎ、選手強化及び競技力向上を図ります。

④スポーツ医科学を活用した競技者の支援

大学等との連携によりスポーツ医科学を活用することで、競技者や指導者など包括的に支援ができるようなシステムの構築を目指します。



校区のバレーボール大会



トップアスリート柔道教室

II スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実

スポーツに関わる指導者、審判員、ボランティアなど、スポーツ活動を支える人材の育成を図るとともに、多様なスポーツ施設の有効活用、安全対策等を行うなど、スポーツ環境の充実を図ります。

施策の方向性

B：スポーツ「人材」の充実

【成果指標】 ささえる

◆スポーツ指導者養成のための講習会・研修会の受講者が毎年400人以上。

※H30実績 364名

【具体的施策】

1 指導者の育成・支援

①各種スポーツ講習等の情報提供

(公財)日本スポーツ協会や各種競技団体等が開催する講習会・研修会等に関する各種情報の提供を行い、それらへの自発的参加や派遣を促進します。

②運動・スポーツ指導者養成のための講習会開催

各種資格制度との整合性を踏まえた指導者養成講習会・研修会の開催や、各競技団体等が行う自主研修活動を支援します。

③スポーツ推進委員への研修

スポーツ推進委員を対象とした研修会を開催し、地域に貢献できるよう知識や技術の習得を促進し、地域スポーツの振興を支える人材の資質向上に取り組みます。

④保育園・幼稚園等職員の運動遊びに対する啓発

生涯の健康・体力等について、幼児期の運動遊び体験の有効性を保育士等に認識してもらうため、講習会等を開催するなど、幼児期からの運動指導を強化します。

⑤指導者やボランティアの人材育成と活用推進

公益財団法人久留米市体育協会や各競技団体等との連携により、指導者やボランティアの人材育成を図ります。

また、スポーツの素晴らしさに触れる機会、自己実現や社会貢献活動の機会としてもらうため、大会やイベント等での運営ボランティアの活用を推進します。

⑥地域スポーツ推進者への表彰

各競技団体やスポーツ推進委員など、スポーツ分野における活動を行う団体・個人が、長年の活動により地域スポーツの推進などに貢献している方々を表彰します。

2 スポーツ関連団体の組織強化・連携

①市体育協会の組織・事業内容の充実

協会の安定的な運営基盤の強化を図るとともに、協会加盟の競技団体や行政、その他の関係機関と連携し、事業内容の充実を図ります。

②総合型クラブの連携・活動支援

県と連携し総合型クラブ相互の連携や情報交換を促進するため、久留米市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の活性化と支援に取り組むとともに、同会の人的・物的資源やノウハウを積極的に活用し、市全域にまたがる事業を展開します。

③総合型クラブの活動支援体制の充実

総合型クラブが持続的に地域スポーツの担い手としての役割を果たしていくため、計画的に事業を実施し、改善することにより活動の安定化を図ります。また、地域に根ざしたクラブとして定着していくために、総合型クラブによる生きがい・仲間づくりなど地域の課題解決に向けた取り組みを支援します。

④学術機関や関係団体との連携

大学等と連携したスポーツ医科学を活用することで、市民が生涯にわたりスポーツを楽しめる事業からトップアスリートの競技力向上に係る事業まで、高度で専門的な観点からの支援とその成果の有効活用を図る取り組みを目指します。

⑤クリーンでフェアなスポーツの推進

スポーツ関連団体と連携を取りながら、各競技団体等に対し、法令の遵守や体罰、暴力等の根絶を目指すため、組織の運営や指導方法等についての啓発を推進します。



スポーツ推進委員の研修会



総合型クラブによる
パラリンピック種目体験会

施策の方向性

C：スポーツ「場」の充実

【成果指標】 ささえる

- ◆スポーツ施設の利用者数が、年間 200 万人以上。 ※H30 実績 1,580,932 人
- ◆学校施設開放事業利用者数が、年間 80 万人以上。 ※H30 実績 771,660 人

1 スポーツ施設の充実

①身近なスポーツ施設としての機能充実

地域における身近なスポーツ施設として魅力ある施設となるよう、地域スポーツ活動に必要な備品の整備等、施設の機能充実を図ります。

②安全で安心できる施設の維持管理

だれもが安全で安心してスポーツに親しめるよう、施設の保守点検や改修等に計画的に取り組むなど適切な維持管理を行い、施設の利用促進を図ります。

2 スポーツを身近にできる場の確保

①都市計画公園等の整備

全世代を通じだれもが気軽に利用できる公園について、ウォーキングに活用できる園路等などの健康づくりに配慮した施設の設置やボール遊び等を行える広場の設置など、計画的な公園の整備に取り組みます。

②スポーツ施設の活用促進

市民のスポーツ活動の場となりえる公立学校体育施設の開放を推進するとともに、公共スポーツ施設においても、各種スポーツ教室などでの有効活用を促進します。

また、市民に対しスポーツ施設の活用促進に向けた周知を図ります。



Ⅲ スポーツを通じた、活力があり絆の強い社会の実現

年齢や性別、障害の有無に関わらず、だれもがスポーツ活動やイベントを通じ、活力があり・絆が強く・生きがいの持てる社会の実現を目指すとともに、地域社会や地域経済の活性化を図るために、スポーツコンベンションの誘致に取り組みます。

施策の方向性

D：スポーツを通じた生きがいもてる社会の実現

【成果指標】 する

- ◆成人の1年間に一度もスポーツをしない者が、15%以下。
- ◆障害者スポーツ大会・スポーツイベント等の参加者が毎年600人以上。

1 生きがい・仲間づくりの推進

①高齢者スポーツ事業の展開

高齢者の体力維持や健康増進を図るため、それぞれのライフスタイルに応じ、老人クラブ等の地域活動・スポーツ活動を支援します。また、生きがい・仲間づくりを推進するため、高齢者向けのスポーツの普及・促進を図ります。

②総合型クラブの普及・啓発

地域でのスポーツを通じ、多世代交流など各種事業を行う総合型クラブの認知度を高めるため、市民に対する普及・啓発を図ります。

③スポーツ少年団の充実

青少年のスポーツを振興し、心身の健全な育成を図るため、少年団スポーツ大会や各種交流会・研修会の開催を支援し、体力の向上や仲間との協調性などを身につけることを目的とするスポーツ少年団の活動の活性化を促進します。

2 健康づくりの推進

①健康づくりのための運動の推進

「いつでも・どこでも・だれでも」手軽に行える健康づくりであるウォーキングやサイクリング、ラジオ体操等の運動を地域との連携により推進します。また、これか
久留米アリーナ
久留米市野球場

らも増加していく高齢者の介護予防につながる運動の推進にも取り組みます。

②保健分野と連携した健康づくり

保健分野と連携しながら「健診受診率の向上対策」「身体活動・運動の普及推進」「食生活環境の整備」を3つの柱として、健康寿命の延伸を図ります。

3 障害者スポーツの普及促進

①障害者スポーツに対する認知度及び理解度を高める

「障害者差別解消法」の趣旨を踏まえ、障害者スポーツに関わる機関やスポーツ団体等と連携を図り、障害者スポーツに対する認知度を高め、理解を深める活動を推進します。

②スポーツ施設の利用促進

スポーツ施設の管理者などに対し、障害のある人への不当な差別的取り扱いをしないことや合理的配慮の取り組みを促すとともに、障害者スポーツ団体と連携し、障害のある人のスポーツ施設の利用を促進します。

③パラリンピック競技大会の体験会の実施

障害者がスポーツに触れ合う機会の充実を図り、障害者のスポーツ参加人口を増やすため、パラリンピック競技大会での実施競技の体験会を実施します。

施策の方向性

E：スポーツを活かした地域の活性化

【成果指標】 [みる](#)

◆スポーツコンベンション経済波及効果 年間5億円以上。

※H30実績 年間4億7千3百万円

◆大規模大会の開催件数が年間5回以上。

※H30実績 年間4回

1 スポーツコンベンションによる地域活性化

①スポーツコンベンション誘致による地域活性化

まちの賑わいと経済・地域の活性化を図るため、スポーツ関係団体や宿泊施設等と連携し、大規模スポーツ大会やプロの試合、キャンプ等の誘致に取り組みます。

②東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした取り組み

ケニアとカザフスタン両国のキャンプを通じ、市民ボランティアなど人的なサポート体制や宿泊、食事、医療などの海外チームのキャンプ受け入れノウハウを蓄積するとともに、受け入れ環境を広くPRすることで、国内外からのキャンプや大規模スポーツ大会などの誘致に取り組みます。

2 観戦型スポーツイベントの充実

① 観戦型スポーツイベントの充実

プロ野球等のプロスポーツの試合を誘致し、レベルの高いスポーツに触れる機会を創出します。また、パブリックビューイングなど、多くの市民と一緒に「みる」機会を提供し、スポーツが持つ「夢」や「感動」を共有します。

②プロスポーツチームを活用したイベントの実施

プロスポーツと身近に接し、スポーツに対する関心を醸成するため、選手等によるスポーツ教室や選手との交流イベントを開催します。

3 スポーツ関連情報の発信

①スポーツ関連情報の発信

市内のスポーツに関する大会やイベント等の情報を、関係機関等と連携し市内外に積極的に発信することで、市民がスポーツをする・みる機会づくりに努めるとともに、スポーツによる久留米の盛り上がりを醸成する。

②学校ホームページによる体育情報の発信

学校の取り組みに対する保護者や地域の方の理解を深めるために、各学校のホームページや通信等を活用して、体育的行事や部活動についての情報を発信します。